



# 合併後5年間のまちづくり

【建設部】

平成22年2月



# 主な取り組み



# 合併後5年間のまちづくり【建設部】

## ○ 主な取り組み

### ● 住環境の整備

#### ○ 災害に強い生活基盤の整備

- ・ 建築物の耐震改修の促進に関する法律に基づく「建築物耐震改修促進計画」の策定。（平成20年3月）
- ・ 市有建築物について特定建築物の耐震診断に着手。（平成21年4月）
- ・ 民間住宅について耐震診断及び耐震改修に向けた助成事業に着手。（平成21年4月）

#### ○ 公営住宅の計画的な整備及び維持管理

- ・ 平成13年度から継続してきたハイタウン平佐住宅の整備を完了。（平成19年3月）
- ・ 住宅の外壁改修，トイレの水洗化及び共用階段の手摺設置などを年次的に実施。
- ・ 借上型地域振興住宅について平成18年～19年度に陽成地域と山田地域に各2戸整備。

#### ○ がけ地近接住宅の対策の推進

- ・ がけ地等に近接する住宅の除却及び移転費の補助金の交付。

#### ○ 公園緑地の整備

- ・ 総合運動公園，川内川宮里公園，丸山自然公園及び久見崎公園等の整備。



# 合併後5年間のまちづくり【建設部】

## ○ 主な取り組み

### ● 道路・交通ネットワークの整備

#### ○ 南九州西回り自動車道

- ・ 川内道路（串木野IC～薩摩川内都IC）の供用開始（平成19年3月3日）
- ・ 川内隈之城道路（薩摩川内都IC～（仮称）川内IC）L=10.2km  
（平成20年3月15日）着工式  
（（仮称）高江IC～（仮称）川内IC間は平成24年度に供用開始目標）

#### ○ 蘭牟田瀬戸架橋の整備促進

- ・ 蘭牟田瀬戸架橋建設事業採択（平成18年3月）
- ・ 蘭牟田瀬戸架橋建設事業着工（平成21年3月）

#### ○ 市道の整備推進

- ・ 市街地の幹線道路網の整備については、交通の円滑化、良好な市街地形成を図るために都市計画道路隈之城・高城線の整備。
- ・ 市民の日常生活に密着した一般市道では、地元要望を踏まえ市道斧渕中央線などの整備。



# 合併後5年間のまちづくり【建設部】

## ○ 主な取り組み

### ● 市街地等の整備と拠点づくり

#### ○ 薩摩川内市都市計画マスタープランの策定

- ・ 概ね20年後の都市施設の整備等の都市計画政策を体系的にまとめた薩摩川内市都市計画マスタープランを策定。
- ・ 基本理念「水・自然・歴史・文化と親しみ、暮らしきらめく快適交流拠点都市・薩摩川内」
- ・ 市民参加によるワークショップ等を実施

#### ○ 川内駅周辺地区土地区画整理事業

- ・ 宅地整備率：100% H21.3月末、区域内の人口 2.0倍  
(平成15年 142人 平成21年 285人)
- ・ 東口駅前広場の供用開始を平成21年度予定
- ・ 平成通線、平佐加治屋馬場線 平成21年度整備完了予定

#### ○ 天辰第一地区土地区画整理事業

- ・ 一級河川川内川・三堂川の改修と連携しながら、市域の外環状道路となる幹線道路や区画道路、親水機能を備えた近隣公園等の公共施設の整備を一体的に行った。
- ・ 事業進捗率(平成21年3月末現在 事業費ベース 約70%)

#### ○ 入来温泉場土地区画整理事業

- ・ 平成17年度から平成20年度に入来温泉場土地区画整理事業の見直し。
- ・ 平成20年度見直し地区の大部分について、仮換地の指定。



# 合併後5年間のまちづくり【建設部】

## ○ 主な取り組み

### ● 河川等の整備

#### ○ 川内市街部改修の整備促進

- ・ 川内川右岸天大橋上流 中郷・瀬口地区引堤事業完了（平成5～19年度）
- ・ 川内川左岸天大橋上流 天辰地区（I期）引堤事業完了（平成14～20年度）
- ・ 川内川左岸鉄道橋下流 向田地区堤防の質的強化着手予定（平成21年度～）

#### ○ 川内川河川激甚災害特別緊急対策事業の促進

- ・ 県北部集中豪雨（H18.7）により被災した市内8地区での事業促進（平成22年度完了予定）

#### ○ 普通河川等の整備

- ・ 水害防止のため老朽化した護岸等取り壊しによる河川改修を純浦ヶ迫川，茶ノ木川等で実施。
- ・ 一級河川八間川において「水辺の楽校」を活用し，東屋等設置による水辺整備を実施。



# 現状と課題



# 合併後5年間のまちづくり【建設部】

## ○現状と課題

### ●住環境の整備

#### ○市有建築物耐震改修

- ・市有建築物の耐震診断については、対象となる件数が多く、また、全国・全県下において、一斉に耐震診断実施の動きがあることから、それに対応する事務処理に時間を要している。

#### ○民間住宅の耐震化

- ・民間住宅の耐震化については、その所有者が自分の意思で耐震診断を実施し、本人の負担も伴うことから耐震化の遅れが懸念される。

#### ○市営住宅のトイレ水洗化

- ・市営住宅のトイレを水洗化することで、浄化槽の維持管理費が発生し、入居者の毎月の共益費負担が増えている。

#### ○借上型地域振興住宅

- ・借上型地域振興住宅については、地域からの建設要望があっても適した用地や、事業に参入してもらえらる事業者の確保が難しい状況にある。

#### ○がけ地近接住宅移転

- ・がけ地等に近接する住宅の移転については、金融機関からの借り入れに対する利息補助であるため、所有者の高齢化に伴い移転希望が少なくなっている。

#### ○公園緑地の整備

- ・市民生活の潤いと安らぎの場となる緑のオープンスペースとして、また、スポーツ・レクリエーション等の様々なニーズに対応した憩いの場所として、さらに災害時における避難場所として、その果たす役割はますます重要視されている。
- ・少子・高齢化していく社会情勢に合わせ、地域の要望及び市民のニーズに対応した公園整備が望まれる。また、既存の公園では老朽化した施設の改修も課題となっている。



# 合併後5年間のまちづくり【建設部】

## ○現状と課題

### ●道路・交通ネットワークの整備

#### ○南九州西回り自動車道の整備促進

- ・川内隈之城道路の整備のための財源確保。
- ・阿久根～川内間については、未だ基本計画区間につきルートも明示されていない。

#### ○蘭牟田瀬戸架橋の整備促進

- ・蘭牟田瀬戸架橋の計画的な事業のための財源確保。

#### ○市道の整備推進

- ・幹線道路網の整備については、九州新幹線全線開業を控え、川内駅周辺では交通の変動や慢性的な交通渋滞が想定され、交通安全対策等を考慮した整備が必要である。
- ・身近な生活道路である一般道路整備については、地域の実情に応じた効率的な整備を行っていく必要がある。
- ・橋梁については、今後、補修や補強に係る費用の急速な増加が見込まれる。

#### ○防災対策

- ・近年の都市化や異常気象による集中豪雨等で、各地で所管施設を含めて種々の浸水被害等が発生している状況であるため、今後これらの解消に向けて総合的な防災対策に取り組む必要がある。

#### ○交通安全

- ・車社会の進展や、社会構造の変化による道路交通量の増加に伴い、今後、人と車が共存する安全で快適な交通環境を実現するため、総合的な交通安全対策が必要である。

#### ○施設管理

- ・広範囲な行政区域の中で、生活基盤である道路等について、交通の利便性、安全性を確保しながら計画的な維持管理に努める必要がある。
- ・市民からの要望・苦情等に対して、これまで以上に迅速な対応が求められる。



# 合併後5年間のまちづくり【建設部】

## ○現状と課題

### ●市街地等の整備と拠点づくり

#### ○天辰第一地区土地区画整理事業

- ・三堂地区に浸水予想住宅8戸，浸水による交通途絶住宅7戸及び第二地区（仮称）の出水島地区に浸水・交通途絶の予想される地域がある。
- ・大学通線が交通渋滞になる。
- ・県道山崎川内線の第二地区区間は未整備で離合の出来ない箇所もあり，危険な状態である。
- ・第一地区と第二地区（仮称）との地区界に段差が発生するので区画整理を一部出来ない箇所がある。（盛土部H=3m，切土部H=1.2m）
- ・平成25年度が完成年度であるため，未着手箇所の区画整理事業の推進が必要である。
- ・一級河川三堂川改修事業の工事推進について県への要望が必要である。
- ・一級河川川内川の第二地区区間は未改修であり豪雨時には危険である。

#### ○入来温泉場土地区画整理事業

- ・土地区画整理事業による温泉施設を核とした観光振興の検討が必要である。
- ・住宅密集地での大規模な高盛土工事となることから，施工手法についての検討が必要である。



# 合併後5年間のまちづくり【建設部】

## ○現状と課題

### ●河川等の整備

#### ○川内市街部改修の整備促進

- ・川内市街部改修の計画的な事業進捗のための財源確保。
- ・川内市街部改修と一体となったまちづくりを進める必要がある。

#### ○川内川河川激甚災害特別緊急事業の促進

- ・川内川河川激甚災害特別緊急事業の目標年度内完成に向けての財源確保。
- ・川内川水系の水害に強い地域づくりに向けて国，沿川自治体が一体となって取り組む必要がある。

#### ○普通河川等の整備

- ・気候変動の影響で短時間に激しい雨が降る傾向から洪水等の発生も多く，状況に応じた河川改修が必要である。
- ・市民の憩いの場として身近な河川の親水施設整備も課題となっている。



# 今後の主な取組について



# 合併後5年間のまちづくり【建設部】

## ○ 今後の主な取組について

### ● 住環境の整備

#### ○ 市有建築物耐震改修

- ・市有建築物は、災害時の避難場所や災害対策時の拠点であることから、耐震改修について重点的に取り組む。

#### ○ 市営住宅地上デジタル放送対応

- ・平成23年7月の完全デジタル化移行に向けて、市営住宅内に設置してあるテレビ共聴設備をデジタル対応化について重点的に取り組む。

#### ○ 借上型市営住宅整備

- ・従来の直接建設では初期投資が膨らむことから、民間の活力を活用した借上型市営住宅の整備について重点的に取り組む。

#### ○ 公営住宅等長寿命化計画の策定

- ・平成22年度に見直し時期となっている「薩摩川内市既設公的賃貸住宅等活用計画」と併せて、公営住宅等長寿命化計画の策定について重点的に取り組む。

#### ○ 公園緑地の整備

- ・「みどりの基本計画」を策定し、少子・高齢化や様々なニーズに対応し地域に密着した公園整備を進め、老朽化した施設については改修を進める。
- ・市内各地の運動公園においては、施設の維持・補修、整備を進め機能の充実を図り、市民の健康づくりのスペースとして、都市間の交流施設としてさらなる活用を図る。



# 合併後5年間のまちづくり【建設部】

## ○ 今後の主な取組について

### ● 道路・交通ネットワークの整備

#### ○ 南九州西回り自動車道の整備促進

- ・ 川内隈之城道路の計画的な事業進捗及び阿久根～川内間の整備計画区間への格上げに向けて、関係機関への積極的な要望活動を行う。

#### ○ 蘭牟田瀬戸架橋の整備促進

- ・ 蘭牟田瀬戸架橋の計画的な事業進捗に向けて積極的な要望活動を行う。

#### ○ 市道の整備推進

- ・ 幹線道路網の整備については、ボトルネックとなっている鉄道交差との川内駅周辺地区の横馬場田崎線の整備を行う。
- ・ 身近な生活道路の一般道路整備については、地域及び市民の要望や道路の利用状況等を考慮した効率的な整備を行う。（1.5車線化の導入など）

#### ○ 危険箇所の計画的な解消

- ・ 災害を未然に防ぎ、安全・安心な生活環境を守るために、日頃から危険区域等の実態把握に努め、早めの防災対策事業に取り組む。

#### ○ 排水施設の整備・更新

- ・ 日常点検等、定期的な維持管理を実施しながら、現有施設の現状、問題点等の検証を行い老朽化に伴う更新計画や新たな整備計画等、予算の平準化を考慮した将来計画の樹立に取り組む。

#### ○ 交通安全施設等の整備

- ・ 歩行者の安全と交通の円滑化を図るため、関係機関との連携を図り計画的な点検を実施し、交通安全施設等の整備に努める。

#### ○ 所管施設の適正管理

- ・ 橋梁の長寿命化対策を含め、所管施設がより長く施設機能を維持できるように、計画的な修繕等、適正な維持管理に務める。



# 合併後5年間のまちづくり【建設部】

## ○ 今後の主な取組について

### ● 市街地等の整備と拠点づくり

#### ○ 天辰第一地区土地区画整理事業

- ・ 浸水地域の建物移転及び造成工事による、浸水地域の解消を行う。
- ・ 幹線道路である永利天辰線の供用開始による、大学通線の交通渋滞解消。
- ・ 第一地区と第二地区（仮称）との段差の解消等のため、第二地区の土地区画整理事業の手続き着手。
- ・ 一級河川三堂川改修工事の事業推進を県へ要望。

#### ○ 入来温泉場土地区画整理事業

- ・ 地域の特性を活かし温泉施設を核とした地区の再生に向けたまちづくりを推進するため、土地区画整理事業を重点的に進める。



# 合併後5年間のまちづくり【建設部】

## ○今後の主な取組について

### ●河川等の整備

#### ○川内市街部改修の整備促進

- ・川内市街部改修の計画的な事業進捗に向けて積極的な要望活動を行う。
- ・川内市街部改修に併せたまちづくりを進めるために関係機関等との連携を強化する。

#### ○川内川河川激甚災害特別緊急事業の促進

- ・川内川河川激甚災害特別緊急事業の計画的な事業進捗に向けて積極的な要望活動を行う。
- ・川内川水系の水害に強い地域づくりに向けて関係機関等との連携を強化する。

#### ○普通河川等の整備

- ・河川整備においては水害対策はもとより、身近な潤いのある河川として親水施設の整備などを進める。



# 代表的取り組み事例



# 【参考】ハイタウン平佐住宅

## ○ ハイタウン平佐住宅（平成13年度～平成18年度）

### 【特徴】

○計画敷地は、市街地外縁部にあたり、自然環境に恵まれている。

○今回の計画にあたって、昭和28年度から昭和44年度に建設された公営住宅を、周辺景観等の調和から、低層木造住宅群として建替を行った。

○高齢者の憩いと相談の場として、高齢者生活相談所を設置するとともに、住戸タイプを2DK及び3DKを設けるなど、高齢者・ファミリー層等の入居者のニーズに応えられるよう計画・建設した。

### 【住宅概要】

建設戸数 145戸（市営100戸，県営45戸）

建物概要 住 宅：木造2階建他一市営25棟，  
県営11棟

集会所：木造平家建

污水处理施設等



【ハイタウン平佐住宅】



# 【参考】南九州西回り自動車道（川内隈之城道路）

## ○南九州西回り自動車道（川内隈之城道路）

### ●概要

- 八代～鹿児島間の全体延長L = 140 km  
（うち本県域はL = 90 km：鹿児島IC～薩摩川内都IC間）
- ・進捗状況：全体供用延長64.8 km（うち本県域はL = 36 km）  
全体供用率 約46%（うち本県域は約40%）

【川内隈之城道路】：（仮称）川内IC～薩摩川内都IC間の約10.2 km

### ●経緯

- H17.12.9 都市計画決定  
H18.2.5 「川内隈之城道路」事業着手式  
～用地説明会，設計説明会，工事説明会等を経て～  
H20.3.15 「川内隈之城道路」着工式

### ●進捗状況（用地取得率）・・・H20年度末時点

- ・（仮称）川内IC～（仮称）高江IC： 約95%
- ・（仮称）高江IC～薩摩川内都IC： 約40%

### ●今後の供用目標

（仮称）川内IC～（仮称）高江IC間は平成24年度供用開始を目標  
（H21.2.19 南九州西回り自動車道建設促進鹿児島県大会で明示）



建設中の川内隈之城道路（H21.3撮影）



# 【参考】都市計画道路・都市公園整備

## ○都市計画道路整備事業（隈之城高城線）

○市街地の交通の円滑化，地域間のアクセス向上を図るために，都市計画道路の整備を進めている。

隈之城高城線は高城町の県道吉川川内線から平佐町の川内加治木線を結ぶ道路として計画されている。

県道吉川川内線から国道267号の未整備区間L=2,050mについては，平成17年度から平成20年度にかけてL=760mを整備し，供用開始を行った。



隈之城高城線 高城町付近

## ○都市公園整備事業（丸山自然公園人工芝サッカー場）

○樋脇地域では温泉とスポーツによるまちづくりを目指して，丸山自然公園の多目的広場等整備を進めている。

夏には市比野温泉サッカー大会が開催され，県内各地から多くのチームが参加し，市内外の交流の場として活用されており，平成20年度はこれまで以上の幅広い利活用を考慮し，広場の一部を人工芝サッカー場として整備を行った。

### 【人工芝サッカー場概要】

面積12,450㎡(縦83.0m×横150.0m)

人工芝 ロングパイル人工芝

※日本サッカー協会の公認施設



丸山自然公園

人工芝サッカー場(濃い芝の部分)



# 【参考】薩摩川内市都市計画マスタープラン

## ○『薩摩川内市都市計画マスタープラン』の策定（平成19年3月）

### ●目的

本市が抱える都市計画上の課題を整理し、長期的展望のもとに本市の望む将来都市像を明確にし、実現へ向けた都市計画施策の体系的な指針を定める。

### ●基本理念

「水・自然・歴史・文化と親しみ、暮らしきらめく快適交流拠点都市・薩摩川内」を目指します。

### ●基本方針

- ・水・自然に接し、歴史や文化と共生する豊かな都市空間の創造
- ・適正な土地利用・都市施設の配置による快適で安全・安心な生活空間の形成
- ・都市機能の集積による躍動する交流拠点都市としての確立

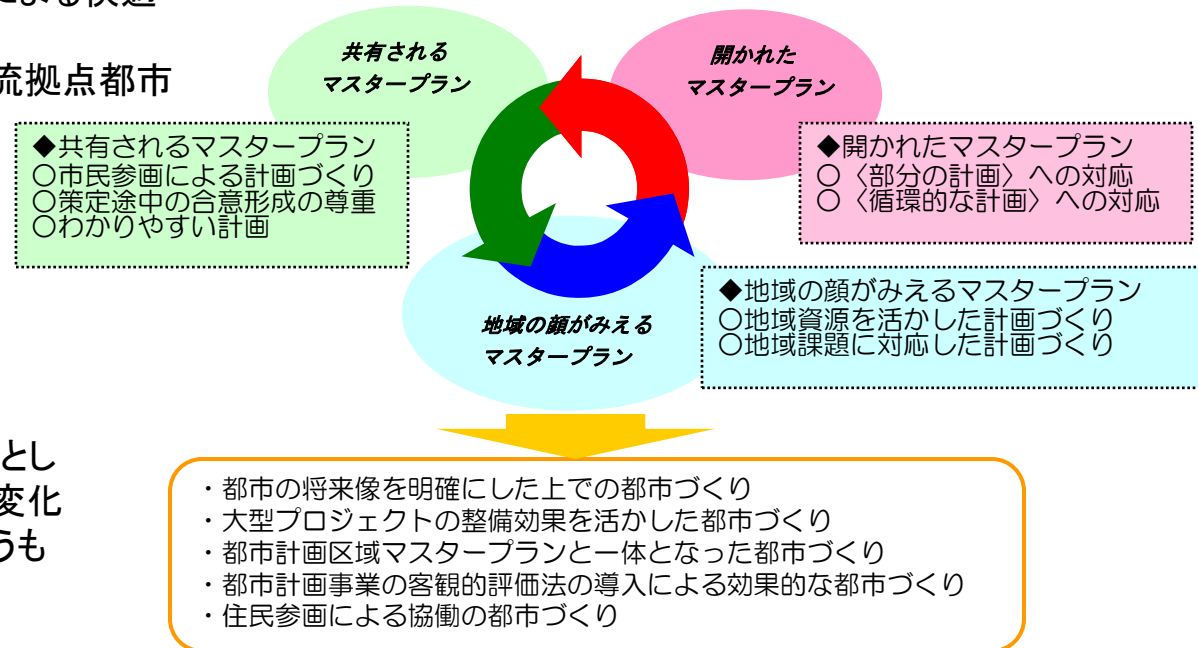
### ●対象地域

川内都市計画区域、樋脇都市計画区域、入来都市計画区域の3つの都市計画区域を対象区域とします。

### ●計画の目標年次

概ね20年後の平成37(2025)年としています。なお、将来の社会情勢の変化等、必要に応じて計画の見直しを行うものとしします。

### 『薩摩川内市都市計画マスタープラン』の三つの視点及び期待効果





# 【参考】川内駅周辺土地区画整理事業

## ○ 川内駅周辺地区土地区画整理事業

### ● 計画的な土地区画整理事業の推進

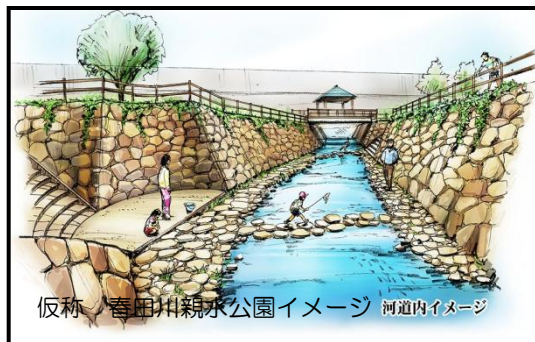
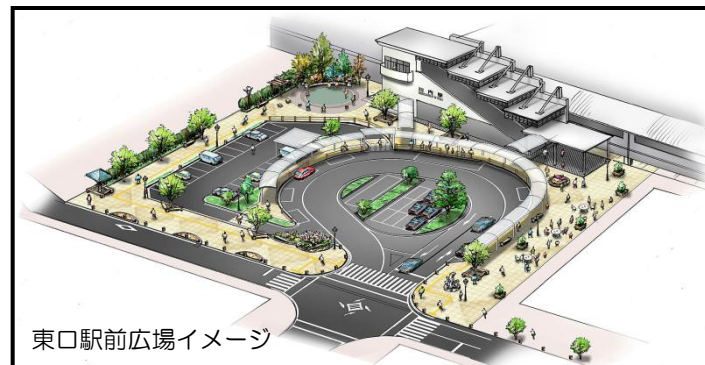
家屋移転率 100% (H20)  
宅地整備率 100% (H21)  
域内人口 2.0倍 (H15→H21)

### ● 川内駅を中心とする交通結節機能の強化

東口駅前広場 供用開始 (H21)  
平成通線、平佐加治屋馬場線 整備完了 (H21)  
横馬場田崎線 着工 (H21)  
東口利用者数 1.4倍 (H16→H21)

### ● うるおいある市街地整備

(仮称) 春田川親水公園 水辺空間創出 (H21)  
遊歩道等 緑豊かな交流空間 (H21)  
電線類地中化 景観形成 (H21)





# 【参考】天辰第一地区土地区画整理事業

## ○ 天辰第一地区土地区画整理事業

### 【事業概要】

- 施行面積： 約75.4ha
- 事業期間： 平成9年度～平成25年度（17年間）
- 全体事業費： 18,063百万円
- 関連事業
  - ① 一級河川川内川 川内市街部改修事業（国土交通省）  
川内川公共施設管理者負担金（H14～H19）
  - ② 一級河川三堂川改修事業（鹿児島県）  
三堂川公共施設管理者負担金（H15～H23）
  - ③ 三堂近隣公園公共施設管理者負担金（薩摩川内市）
  - ④ 準用河川三堂川・立山川改修事業（薩摩川内市）
  - ⑤ 天辰地区公益的施設整備事業（薩摩川内市）

### 【経緯】

- 平成 5年 2月：川内地方拠点地域指定
- 平成 8年12月：都市計画決定
- 平成10年 2月：事業計画決定
- 平成13年12月：第一次から第3次  
仮換地指定完了
- 平成21年 3月：家屋移転戸数309戸

